



学 園 だ よ り

# こ ぶ し 辛 夷 花

発行 社会福祉法人上の原学園

住所 茨城県桜川市上野原地新田159-1 Tel.0296-75-2509(代)

ホームページアドレス <http://www.u-gaku.or.jp/>

メールアドレス [uenoharagakuen@basil.ocn.ne.jp](mailto:uenoharagakuen@basil.ocn.ne.jp)



## 夕涼み会

感染症対策として密集を避ける為、  
飲食スペースを分けて実施しました!



コロナ禍となり早一年以上経過し、利用者の皆さんは休日のコンビニエンスの買い物、面会日や帰省、園外活動など日々楽しみにしていた事が制約され、家族に会えない寂しさや、ストレスを抱えた日々が続いています。

当初八月二十七日に開催する予定でしたが緊急事態宣言が発令され、一か月延期となり、今度こそはと思っていた矢先、宣言延長になり、開催が危ぶまれていました。しかし、少しでも皆さんに楽しい時間を過ごして欲しい一心で、感染症対策を徹底し、当初より内容や時間を短縮し、たこ焼きとチョコバナナの軽食を模擬店で出し、遅い夏祭りを開催する事になりました。

当日の九月二十四日は残暑と言うより酷暑でしたが、暑さ以上に皆さんの笑顔が眩しく、嬉しそうに模擬店の列に並び、美味しそうに頬張っている姿を見て、今までの不安や心配は一気に吹き飛びました。また、夕涼み会を通して利用者の皆さんに教えてもらった事が増え、感謝の気持ちでいっぱいです。

実行委員一同

# 法人内で八月に確認された新型コロナウイルス感染症について

この度、ホームページでもご連絡させて頂きました、当法人において新型コロナウイルス感染症が確認された際には、サービスをご利用いただいているご利用者様、関係者様に多大なご迷惑をおかけいたしましたして申し訳ございませんでした。また、ご心配のお声掛けを多くの方々から頂き、心より感謝申し上げます。

その後、感染症の疑いのある症状や体調不良の方が確認されなかった為、新しい生活様式の中サービスを再開させて頂き、ホールに響く子供たちの元気な声を聞いていると、通常の生活に戻った事を心から幸せに感じております。

ただ、まだまだコロナ感染症に対する対応は必要な状況であります。皆様と大声で笑い合える日々が一刻も早く戻ってくることを願いながら、今後とも感染予防対策に、より一層力を入れて運営に努めてまいりますので、ご指導宜しくお願い致します。

杉山 記



筑西保健所のご指導を受け施設内のゾーニングや防護具を使用してあらゆる感染予防対策を実施しました。

# うまなべ祭りについて

上の原の秋のイベント「うまなべ祭り」が定着し、地域交流事業として行われてきました。

しかし、現在も新型コロナウイルスの感染が心配される状況である為、今回も昨年と同様に利用者さんとのスタップのみで園内で秋祭りを十一月二十七日に実施する予定です。

時間を分け、密を避けながら模擬店を行います。メニューは、現在検討中ですが、皆さんが喜ばれる物を提供していきたいと考

生駒 記



令和2年秋祭りの様子

# サービス相談会



七月十二日から十六日、十九日から二十一日の八日間、障がい児、障がい者の方を対象としたサービス相談会を実施しました。

状況は事前考慮しまして、今年度は事前予約での参加、また、オンラインでの対応とさせていただきます。今回は特別支援学校卒業予定の方を中心に、ご参加いただき、卒業後の希望進路を踏まえ、卒業後の希望進路の特色や活動内容についてご紹介しました。

今回の相談会でいただいたご意見、向上にも生かしていただき、大変ありがとうございます。

飯沼 記

# 成人寮

## Aユニット 園外活動

七月二十日に、Aユニットは県西運動公園に園外活動に行きました。参加した利用者の方々は事前に食べたいお弁当を予約し、それを購入してから公園に向かいました。

公園では会議室を借りてそこで昼食を食べました。その後は天気良かったので、希望した方は公園の散策をしました。コロナウィルス感染のリスクを配慮しながらの久しぶりの園外活動でしたが、皆さん笑顔が多く見られ、有意義な時間となりました。

高野 記



## Bユニット 園外活動

七月九日に、Bユニット園外活動で下妻市の小貝川ふれあい公園に行ってきました。

天候はあまり良くなかったですが公園に行つて、昼食を食べて遊具で遊び、散策を楽しむ事が出来ました。公園に行く前に近くのお弁当屋さんで好きなお弁当を購入しました。公園に着くと昼食の時間になつていたので、ベンチで昼食を摂りました。

カレーライスや唐揚げ弁当など皆さん嬉しそうに食べる事が出来ました。昼食後は公園内を散策して、久しぶりの外出の為か、笑顔が多く見られました。公園の遊具では、シーソーやジャングルジム、すべり台などで遊んで、楽しい時間を過ごす事が出来ました。

帰りになると「次はどこ行くの?」と話す方もいて、次の園外活動も楽しみにしている様子でした。

中山 記



## Fユニット 園外活動

七月二十八日に、Fユニットの園外活動を行いました。

目的地は、筑波山と協和の杜公園でした。筑波山には登頂こそしませんでした。ロープウェイ乗り場の駐車場までドライブし、持参した飲み物を飲んで、景色を堪能しました。

次に協和の杜公園へ移動し、お弁当を食べました。自然に囲まれながら食べるお弁当は、普段よりも美味しく感じました。皆さん嬉しそうに頬張る姿が見られました。また、数多くの遊具も設置されており、思い思いに遊んでリフレッシュする事が出来たようです。

近場ではありませんでしたが、利用者さん達にとつて十分楽しめた活動になったと思います。帰路へと着く前に食べたアイスは、利用者さん達にとつて良き思い出になったのではないのでしょうか。

荻野 記



## Gユニット 園外活動

十月十八日に、Gユニットの園外活動で霞ヶ浦総合公園に行ってきました。

当日の天候は快晴でしたが、十月中旬という事もあり、空気は冷たく感じられました。それでも久方ぶりの園外活動の為か、利用者さんの中には汗ばむ程、活発に動いている方もおりました。

昼食は事前に購入していたお弁当を空いているベンチをかりて、ランチタイムを楽しみました。

ゆつくりと昼食を食べた後も、公園内を散策しますが、時間と共に雲も多くなってきて、より肌寒く感じられたので帰りの準備をしていると、利用者さんから「また出掛けたいね」と存分に楽しんで気持ちが伝わってきました。

仁平 記



# 児童棟の夏休み

児童棟

## 夏休みの思い出

8月

- 1日 音楽支援
- 2日 水遊び、流しそうめん
- 3日 ランチョンマット作り
- 4日 サイコロベースボール
- 5日 奉仕作業、ダンスバトル
- 6日 ダンスバトル本番
- 7日 言葉の勉強
- 8日 ポッチャ
- 9日 キッズ会
- 10日 手袋シアター
- 11日 水風船
- 12日 水遊び、かき氷
- 13日 シン・エヴァンゲリオン鑑賞会
- 14日 クリームソーダ作り
- 15日 キャタピラー制作
- 16日 俳句クイズ
- 17日 じゃんけん大会
- 18日 上野沼清掃

9月

- 3日 ポッチャ
- 4日 ダンスバトル
- 5日 音楽支援
- 6日 新聞遊び
- 7日 茨城弁講座
- 8日 リズム遊び
- 10日 クリームソーダ作り
- 11日 DVD鑑賞
- 12日 キッズ会
- 13日 劇練習
- 14日 ダンスバトル
- 15日 ピンゴゲーム
- 16日 劇練習
- 17日 ダンス練習
- 19日 卓球
- 20日 上野沼散策
- 21日 サイコロベースボール
- 23日 予想ゲーム

26日 劇発表



コロナ禍の影響で夏休みでも外出が思うように出来ずにいました。そんな中でも児童棟は毎日レクリエーションを実施しました。

水遊びやダンスバトルなどで体を動かしたり、流しそうめんやクリームソーダ作りなどの食事でお腹を満たす事が出来ました。

毎月職員が二つ以上レクリエーションの案を出して実施しました。それぞれの個性が出た二か月間でした。子どもたちだけでなく職員も楽しく過ごす事が出来ました。

北嶋 記

# わんぱく・てびぼっ

## 調理実習



園内活動でプリンアラモードを作りました。  
お皿にのせたプリンにウエハートやキウイ、バナナ等を添え、最後にホイップクリームでトッピングしました。  
見た目も可愛らしく、味も美味しいプリンアラモードに皆さん大満足の様子でした。

坂本 記



# サポートセンター樹々 ウォーク・オブ

十月二十六日に園外活動で筑波山へハイキングに行つて来ました。

当日は天候にも恵まれて雲の少ない秋晴れでした。利用者の皆さまも久し振りの園外活動という事もあり朝から楽しみにされている様子でした。筑波山は初心者向けの山でルートも比較的整備されている道が多く、勾配もなだらかである為、利用者さんも無理せず自分のペースでハイキングを楽しむ事が出来ていました。頂上には休憩スペースもある為、景色を眺めながらお弁当を食べることも出来ました。ハイキングと言っても登山でもあったので、多少疲れている様子もありましたが、普段見ることが出来ない景色を見ながらお弁当を食べることが出来た事もあって園外活動を十二分に楽しむ事が出来たようです。

安田 記



# つくし&スイートツブ

## 夏野菜を育てました!



中庭にプランターを置き、夏野菜のオクラ、きゅうり、トマトを育てました。

利用者様には苗植えから片付けまで一緒に行なっていただけ、成長を楽しみながら育てる事が出来ました。一番最初に収穫出来たのはトマトで、オクラは実が生るまでには時間が掛かりましたが、一つ目が生り始めると次々と成長し、それぞれ沢山収穫する事が出来ました。収穫できた野菜は夕食に使用し、利用者様に「おいしいな」という声が聞かれました。

ホットプレートを用意し、テラスでなんちゃってパーティを行いました。普段と違う雰囲気での食事ということで、利用者様方にとって良い気分転換になりました。

渡辺 記



## BBQ

# 特別養護老人ホーム 上の原

## オンライン面会

特別養護老人ホーム上の原では新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、昨年の五月からアプリのLINE（ライン）を活用したオンライン形式での面会サービスを行っています。長期化するコロナ禍にあって入居されている皆様と実際に会って顔を合わせさせてお話しすることが難しくなっている状況の中、今では週末を中心に毎週コンスタントに予約をいただいております。ご家族様との繋がりを保つ貴重なツールの一つとして、定着してきています。

長引くコロナ禍により、入居者様とご家族・ご親族の皆様との面会もままならない状態が続いてきたことを受けて、特養上の原では昨年よりオンライン面会を始めました。この面会は実際に顔を合わせる通常の面会と異なり、タブレットやスマートフォンを利用して通信で行うので、遠方のご家族様も手軽に面会をすることが出来、場所を問わずどこでも出来る手軽さや、感染症対策といったメリットがあります。一方でスマートフォンを使いこなせないなどの声や、通信環境、安定性などの問題もあります。

オンライン面会は新型コロナウイルス感染症が終息した後も遠隔地のご家族様などの手軽な面会を可能にするなどサービス向上に役立つことでしょう。ただ、入居者様やご家族の皆様から対面での面会が良いとの声もあります。そういった声を大事にして感染拡大が収まれば、両方の形でやっていきたいと思えます。新型コロナウイルスが早く終息することを願っています。

益子 記

### 【LINE面会ご利用の流れ】

- ①特養LINE用IDを登録
- ②お電話にて面会日を予約  
(希望日の2日前まで)
- ③当日時間が近づいたらLINEを準備



職員が準備をお手伝いします!

ライン面会(ビデオ通話) ※詳しいご利用方法は特養上の原までお問い合わせください!



## 敬老の日

九月二十日、敬老の日にあたり入居者の皆様と長寿のお祝いをしました。コロナ禍によりご家族様にも会えない日が続く中、寂しさやストレスが溜まっている事と思えます。ご家族様の代わりにはなりません。職員からのメッセージを寄せたカードをプレゼントし、厳しい時代を過ごしてこられた皆様へ敬意と感謝の気持ちを贈らせていただきました。

学生服での記念撮影も行い、初めてのセーラー服での記念撮影に恥ずかしそうに笑いながら「昔は着物の端切れでモンペを縫った」と話してくださる方もいました。おやつでの梅茶や一口芋も美味しいと喜ばれておりました。

短い時間でも若き時代に思いを馳せていただく事が出来たのであれば幸いです。一日でも早くコロナが終息し当たり前の日常が戻るよう祈ります。

今井 記

**☆長寿インタビュー**

☆記念撮影☆

この日は特別メニューの昼食を食べました!

懐かしの学生服

## デイサービス通信 Vol.5

デイサービスセンター上の原は、おかげさまで本年八月をもちまして開所から三周年を迎えることができました。利用者様にどうしたら楽しんで頂けるかスタッフ一同で何度も話し合い、四季を感じられるような壁面を作り上げたり、ゲームを考えたりと、利用者様ひとりひとりの意見を尊重し「今日も楽しかったね」と笑顔で言ってお帰りになって頂けるように日々努力し工夫を重ねております。

新聞紙やタオル、ボールを使用した身体を動かすゲーム、脳トレ、昼食レクなど、コロナ禍で外出が制限されていても笑顔で過ごせる様に、スタッフ全員で頑張っています。利用者様がデイサービスセンター上の原でより一層楽しんで頂けるように、これからも努力していきたいと思えます。

市塚 記

敬老の日

上野沼散策

コスモス鑑賞

ドライブ

運動会

昼食レク

# 新採スタッフ紹介

## 上の原学園成人寮 三浦美和子



○出身 下妻市  
○趣味 食べること  
○一言 道に迷う事はあっても、自分の立ち位置は見失わないように精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。

## 柴 健



○出身 栃木県真岡市  
○趣味 ツーリング、麻雀、釣り  
○一言 迷惑をおかけする事もありますが、頑張っていきたいと思えます。

## 上の原学園児童棟

## 永野 稔



○出身 栃木県茂木町  
○趣味 ラジオ投稿  
○一言 慣れない部分もありますが、「やる気・根気・向上心」で仕事に臨みます。よろしく願います。

## 特別養護老人ホーム上の原

## 早瀬由利子



○出身 日立市  
○趣味 (創作)ペーパークラフト、かご編み、アクセサリー  
○一言 七十才でも現役！永い介護職、お力になればと、頑張っていきたいです。



# 福祉の聲

## 介護支援専門員の仕事と役割②

前号より新コトナールとして始まった「福祉の聲」、今回は主に介護保険の分野で活躍する「介護支援専門員(ケアマネジャー)」に焦点を当て、その仕事や役割について簡単に流れをご紹介します。今回はその続きで、介護支援専門員の業務の中の重要な一つ、「アセスメント」についてご紹介します。

## アセスメントとは?

居宅介護支援事業所上の原の仙波です。季節もすっかり変わり、長袖が必要な時期となりました。今回は二回目の福祉の聲です。前回は簡単にケアマネジャーの仕事の説明させて頂きましたが、今回はアセスメントについてお話させて頂きます。

介護におけるアセスメントとは、利用者の状態や生活環境などの情報を集めて、総合的に分析をし、利用者が抱えている課題を明確にすることです。『事前評価』『課題分析』などとも表現され、このアセスメントがケアプランを作成する際の礎となります。目から入れる情報だけでなく、本人や家族の会話から発せられる言葉や、仕草も重要なポイントとなります。

また、初面談であれこれと聞くものなかなか難しい場合もあり、少しずつ時間をかけて行うこともあります。何気ない世間話から課題を発見したりとアセスメントはマニュアル通りにはいきません。(次回に続く)

仙波 記

## アセスメントの主な評価項目

- 基本情報(氏名や性別など)
- 生活状況(現在の生活状況・生活歴)
- 健康状態(利用者の健康状態)
- ADL(日常生活動作)の状態
- IADL(手段的日常生活動作)の状態
- 認知能力の程度
- コミュニケーション能力
- 社会との関わり
- 排尿・排便の状態
- 嚥下や口腔内の状態
- 食事の状況
- etc...

課題分析基準と呼ばれ、評価項目は23項目に渡ります。これらをアセスメントシートという表にまとめていきます。

## キーワード Key Word

- 【ADL(日常生活動作)】…日常生活に必要な基本的な動作のこと。(例:着替え、歩行、トイレ動作etc..)
- 【IADL(手段的日常生活動作)】…日常生活でより複雑な動きや判断が必要な応用的な動作のこと。(例:買い物に行く、乗り物を利用するetc..)

# 調理の窓

今回は、夏から秋にかけての旬の野菜「ナス」を使用した料理の紹介をします。

## 《ナスの豚巻き》〜二分量〜

**材料**

- 豚肉薄切り...300g
- ナス...2本
- 片栗粉...適量
- 酒...大さじ2
- 味噌...大さじ1
- 醤油...大さじ1
- みりん...大さじ1
- 砂糖...大さじ1
- にんにくチューブ...小さじ1
- (お好みで)豆板醤

### 《作り方》

- ①ナスはヘタを切り落とし一本を縦に六等分に切り片栗粉をまぶしながら豚肉を巻き付ける。
- ②蓋をしながらか弱火で五分焼き、裏返して酒を加え、蓋をしてさらに五分焼く。
- ③混ぜ合わせておいたたれを加えて絡めて完成！



藤枝 記

# ナースコール

新型コロナウイルス「デルタ株」

全国の新規感染者の九割以上が、従来株から「デルタ株」に置き換わったといわれています。デルタ株はこれまでとは比べものにならない感染力だと専門家は警告しています。デルタ株の感染力が強い一番の理由は、細胞にとりつく力が強いことだそうです。このデルタ株を例えていうなら、鋭い棘に覆われて取れにくい「ひつつき虫」。肺の細胞についたら離れにくいといえます。デルタ株が広がった現状は、小さなそのひつつき虫が空気中に漂っているイメージなんだそうです。また、このデルタ株は感染後も体内の細胞に効率よく広がり、急激な重症化につながりやすいと考えられています。現在、三十歳から五十歳代で起きている急激な症状の悪化はこの為ではないかと推測されています。自分自身と大切な人を守る為、一人ひとりができる感染予防策をもう一度見直し実行しましょう。

「東京新聞」より 本橋 記

**3つの密**

密閉 密集 密接

私たちにできる予防策

手洗い マスク うがい

# リスカ株式会社様より



ありがとうございます  
ございました

お菓子を寄贈して頂きました。寄贈品は、日々のおやつやイベント時に利用者の方々に提供させて頂きます。善意を有難うございました。

## 茨城県社会福祉協議会会長顕彰

第71回茨城県社会福祉大会において社会福祉事業功労者として表彰されました。

**表彰者**  
宮田 雅仁

受賞おめでとうございます

**写真掲載のリスト**

広報誌の写真掲載は個人情報やプライバシーに配慮し、ご本人やご家族の了承の上で掲載しております。

# 苦情解決窓口

- 苦情解決担当者
  - 成人寮施設長 杉山 真里
  - 児童寮施設長 坪井 寿美雄
  - サポートセンター長 宮田 雅仁
- 苦情受付担当者
  - 成人寮部長 佐藤 薫
  - 児童寮部長 鈴木 幸江
  - グループホーム主任 篠崎 喜之
- 第三者委員
  - 保護司 又村 和子
  - 評議員 関口 清
- 上の原学園 (0296・75・2509)

## 編集後記

今回の辛夷花も新型コロナウイルス感染症に関する内容を取り入れて作成させて頂きました。コロナ禍において生活に変化が生じましたが、今までの何気ない日常の有難みをより実感する機会が増えたのではないのでしょうか。新しい日常の中でも、人との繋がりを保つ工夫をした活動に取り組み、今後も広報誌等を通して情報提供していければと思います。誌面作成に当たり、御協力頂いた皆様にご場をお借りして深く感謝申し上げます。

坂本 記